

## 7. 生協労組おかやま・井木代議員

4月30日～5月6日までNPT再検討会議に参加した。県労会議の代表として貴重な経験をさせてもらったことに感謝している。岡山から29名が参加し、参加者の半数が青年だったことが特徴。スケジュールは厳しくニューヨークに着くと直ぐに国際会議に出席し、夕飯はその日の10時過ぎになった。国際会議の軍事費をなくす分科会に参加したが、日本だけでなくグアムやハワイ、中南米の人たちも軍事基地はいらないと運動している。単純に「アメリカ兵はグアムやハワイに帰れ！」と言えないと感じた。国際会議では国連事務総長が参加をして軍縮総会に臨む国連としての決意が語られ気迫を感じた。会場からも立ち上がって拍手が起こり感動した。ニューヨークで世界の平和運動に触れて核廃絶の決意を新たにした。戦争を知らない世代が増え、自身もおじさんとなることから「戦争をさせないおじさんになりたい」と思っている。2日目は署名活動とデモ、3日目は国連本部に行って、原水協主催の集会に参加するなど時間をフルに使った行動だった。署名では英語ができなくて困ったが、自治労連などの青年が「サイン・プリーズ」といって立ち止まってサインしてくれ、家族でもしてくれるなど終日活動した。ニューヨークに行って賑やかして来ればいいと思って参加したが、世界から核兵器をなくしていくためには世界の平和運動や労働運動が交流を重ね、意見交換をすることが大切と感じた。生協労組ではパートの雇用問題に振り回された1年だった。1000人のパート職員の内300人の雇用問題に関わってきた。7月1日に70人の仲間が職場を去った。この波は2012年にもう一度やってくると考えられるが、会社が戸別宅配を藤田から尾道に移すということからくる問題でした。それでも雇用を守ろうと、営業の仕事が創設されたが、ハードルが高く職場を去ったものや頑張っただけの仕事をしている仲間もいる。ディーセントワークが言われているがパート職員と正規職員の仕事の区別ができなくなっている。パートの格差は労働者の人権の問題だ。今後も頑張る。